

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第58回日本植物生理学会年会
演題名	インゲン未熟種子中の12-オキソフィットジエン酸のマトリックス支援レーザー脱離イオン化-イメージング質量分析法による可視化
発表者	○榎元 廣文、扇子拓也※、佐藤圭※、湯本絵美、宮本 皓司、内田健一、朝比奈雅志、横田 孝雄、 <u>山根 久和</u> （食品分析学研究室）
内容	<p>植物ホルモンの一種であるジャスモン酸の生合成中間体で独自の生理機能も有している12-オキソフィットジエン酸(OPDA)などは、種子の生理の制御において重要な働きをしている。しかし、種子中のOPDAの可視化法は開発されていない。</p> <p>そこで本発表では、マトリックス支援レーザー脱離イオン化-イメージング質量分析法を用いたインゲンマメ未熟種子中のOPDAの可視化について報告した。</p> <p>なお、本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」による支援を受けて行った。</p>
関連画像	 <p>実験に使用したイメージング質量分析計</p>